

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	再発難治性多発性骨髄腫に対するCAR-T細胞療法の有効性と安全性に関する後方視的研究
研究責任者	血液内科 余語萌
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>多発性骨髄腫は全造血器腫瘍の約10%を占める悪性腫瘍の一つです。多くの新規薬剤の登場により、予後は徐々に改善してきていますが、未だに治癒することは困難で、再発を繰り返すことが多いことが知られている疾患です。このたび再発難治性多発性骨髄腫に対して、骨髄腫細胞が発現するB細胞成熟抗原(BCMA)を標的としたキメラ抗原受容体発現T細胞輸注療法(CAR-T細胞療法)の有効性が示され、2022年にこの治療が保険収載されました。しかしこの治療には今までの新規薬剤には見られなかったサイトカイン放出症候群など特殊な合併症が知られており、実臨床における有効性と安全性を検証していくことで今後の治療に役立てていくことを目的としています。</p>
研究方法	<p>2022年1月～2025年1月までの間に当センターで多発性骨髄腫に対するCAR-T細胞療法を実施した患者様を対象とし、診療上の必要性をもって行われたこれまでの検査結果や診療録の内容をもとに、患者様の臨床所見、治療経過を後方視的に解析します。なお研究結果は学会や論文で発表します。</p> <p>倫理的配慮:解析は、個人情報保護に十分配慮した上で行います。個人名が特定されないよう、患者さんの情報は匿名化されます。上記対象に該当する方で、本研究への登録を希望されない場合は、下記までご連絡ください。登録を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:余語萌 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604</p>